

チリの鉱山向け海水淡水化プラント用ポンプを受注

Abengoa Chile S.A.からMantoverde海水淡水化プラント用ポンプ9台を受注

Abengoa Chile S.A.から、チリの鉱山向けMantoverde海水淡水化プラントの製造水ポンプ6台とERDブースターポンプ3台を受注しました。

Abengoa社は、インフラ、エネルギー、水の分野において、持続可能な社会の実現に向けた革新的な技術ソリューションを提供する国際企業であり、チリを含む北米および南米で強い存在感を示しています。同社とトリシマは、中国の青島プラント向けの受注から10年以上にわたって安定した関係を築いており、世界各地で10件のプロジェクトに携わってきましたが、今回のチリ向けプロジェクトは、南米初となります。

Mantoverdeはチリのアタカマ地域にある鉱山で、現在Mantoverde断層に沿った4つの坑道で構成されています。この鉱山から西へ約40kmの海岸に位置する本海水淡水化プラントでは、アタカマ地域の住民の貴重な水供給源であるコピアポ川の淡水を鉱山操業で使用せずにするよう、拡張工事が行われます。

本プラントの造水能力は、拡張後は380ℓ/s(現在の120ℓ/s+拡張260ℓ/s)となり、鉱山操業に必要なすべ



ての水を供給することになります。製造された水は、トリシマの高圧ポンプによって、鉱山に送水されます。

チリは海水淡水化プラントが多い国の一つです。トリシマはこの受注を機に、今後もポンプの供給を通じて同国の発展に貢献する最高のポンプサプライヤーになることをめざします。また、Abengoa社とも継続して良好な関係を保ち、さらなる受注につなげていきます。

ポンプ名称	Product Water Pumps	Product Water Pumps	ERD Booster Pumps
口径・形式	MHH150/5	MHH150/5	CBR125-200
台数	3台	3台	3台
原動機容量	530 kW	590 kW	75 kW